Yoshinogawa medical center

Board of education 通信

MANAGEMENT| VOL.10
2023/06
キャリアサポート室発行

管理力を磨く７箇条②「本から得たことを自分の糧にする」

objective

看護管理者の知識と能力向上のためのヒントをお伝えします。

POINT

前号でご紹介した「70:20:10 の法則」では、成長への有効性は「公的な学習機会（座学）」は 10%であるという内容でした。その程度であれば座学は必要ないのでは？と思われるかもしれませんが決してそうではありません。有効性の差はありますが「経験・関わり・座学」の 3 点はどれも看護管理者の成長に欠かせないものです。座学で重視するのは「読書」です。仕事上の経験がリーダーにとって最も大切な宝となるものですが、あくまで自分一人が経験したことです。しかし、本には他者の経験や知恵がたくさん詰まっており、しかもそれを自由に得ることができます。

心にひっかかる本は
あなたの人生を
変えることになるかもしれません。

【引用・参考文献】
1）川上清文ほか，ヒトはなぜほほえむのか：進化と発達にさぐる微笑の期限，東京，新曜社，2012，180P
2）坂本すがほか，ナーシングビジネス 2023 年春季増刊，メディカ出版，16-19P

本から得たことを経験や関心事と結びつける

未来を見すえて行動していくためには、本の中にある他者の過去の経験を参考にしつつも、それを踏まえて自分はどうマネジメントの舵を切っていくかという、自身の考えが必要！

読書の際に注意したいのは、本に書いてあることを「鵜呑みにしない」ことです。例えばリーダー本やマネジメント本には成功体験や成功方法などが書かれていますが、それらはあくまで他者の過去の経験を書いたものです。皆さんはこれから看護管理者として未来に向かって自部署をマネジメントしていかなければなりません。本は考えを整理するのに役立てたり、新しい発想を生むきっかけとして活用していきましょう。

読書の良さの一つに自分が経験したことや、自分の考え・関心ごとなどを裏付けてくれるという点があります。生まれたばかりの赤ちゃんがミルクを飲んだ後や寝入りばなに、ニコッと微笑んだような表情をすることがあります。新生児微笑といわれる神経反射ですが、「天使のほほえみ」と呼ばれたりします。その後に読んだ本[1]に「人間はお腹の中にいるときから笑う練習をしている」「人間は一人では生きていけず、関係性を持って生きている動物だからである」といったことが書かれていました。私達は人をまとめて仕事をしていくことや人と人との関係性にずっと関心を持ち続けています。この本を読んだとき「人間はやはり生まれながらにそのような特性があるのだ」「微笑むのは人間にとって関係性が重要だからだ」と、自分の経験や関心事が裏付けられたようです。本は流し読みでも構いません。読んだ際に気になったことや関心を持ったことを頭の片隅に置いておきましょう。ふとしたきっかけに「そういえばあの本に書いてあった」「あれはこのことだったのか」という気づきや発見に繋がっていくはずです

本との出会いは「心にひっかかる」を大切に

では、どのような本を読めばよいのでしょう？自身の専門領域に関係のある本はもちろんですが、それ以外にも様々なジャンルの本を読むといいでしょう。手当たり次第に読むというよりは、関心がある内容やなぜか「心にひっかかる本」を手に取ってみることをお勧めします。本は出会いです。「心にひっかかる本」には必ず何かがあります。アンテナを張っていれば、自分が必要とする本に出合えるはずです

最近、心にひっかかった話

ある記事にポジティブリストとネガティブリストの話があり「ポジティブリストはリストにあげられていることしかしてはいけないということで、ネガティブリストはリストに挙げられていること以外は自分の判断で何でもしてもよいということ」と書かれていた。この話を読んだとき、これは医療現場における「マニュアル」に対する考え方に置き換えることができると考えた。つまりマニュアルには「マニュアルにあることしかしてはいけない」という考え方と「マニュアルにあること以外は自分の判断で工夫してもよい」という 2 通りの考え方があると思った。なぜ、私はこの記事からマニュアルの話を想起したのだろうかと内省したところ、看護師にマニュアルを教えることに関して「マニュアル人間になったらどうしよう」という抵抗感を持つ人も多いのだが「実際のところどうなのだろう？」という思いが頭の片隅にあったためだと気づいた

2023 年 7 月　マネジメント対象研修予定

- 3 日　12 時 30 分～「看護を語る会」
- 3 日　マネジメントラダー「記録」 17 時～
- 6 日　師長勉強会　17 時~
- 10 日　管理者勉強会　師長・主任会終了後～
- 12 日　マネジメントラダー「質改善」

電子メール

TWITTER ハンドル

電話

LINKEDIN URL

電子メール

TWITTER ハンドル

電話

LINKEDIN URL